

泉佐野市の未来を創る教育事業

①抱えていた課題

日本は地震や台風が多い自然災害大国であり、平成7年の阪神・淡路大震災及びそれ以降の地震及び、平成23年の東日本大震災による津波による甚大な被害、また近年、集中豪雨による被害も増加傾向にあることから、幼少期より災害から命を守るための「生きる力を育む防災教育」を進め、災害に対する知識や対応力を高めていく必要があると考えている。

②課題に対する取組み

学校における総合的な学習の時間等の防災に関する学習に加え、「ジュニア防災検定」の受験を必須としている。検定は、筆記試験だけではなく家族防災会議レポート、防災自由研究の3つから構成されており、検定に向けた学習を通じ、子どもたちが日常から防災と減災に深い関心を持ち、意識を高め、自分で考え判断し行動できる「防災力」を身につけることを目的としている。小学4年生を対象とし、市内の全ての小学校に於いて実施している。

「ジュニア防災検定」
受験により防災知識
を身につける

日頃から防災に対
する意識を高める

地震等災害発生時

身を守る行動
自分と家族の安全確認

安全確認後避難



③目指している将来像

日ごろから災害に備えた準備の啓蒙
災害時に生命を守るための基本行動の習得
未来を創るひとりとして防災・減災のために何ができるのかを考える

防災知識
の向上

自助防災力
の強化

共助公助
としての
防災

未来を創る
子供達の
防災力強化

④企業様に向けたメッセージ

防災教育は児童生徒一人ひとりの防災力の向上を目指していますが、関連して地域の防災力を高めることも目的としています。学習を進めるにあたっては学校だけでなく、子どもたちの家庭、そして地域が連携することが重要であると考えます。未来の創り手である子どもたちのために、本取組みにご賛同頂ける企業様からも、お力添えをいただければ幸いです。